

試合名：関東地区ミニバスケットボール大会東村山JCカップ2012 男子決勝

日付：平成24年8月5日(日)

会場：東村山市民スポーツセンター

チームA

小張小ミニバスケットボール
クラブ

(茨城県)

43 $\left\{ \begin{array}{l} 5 - 10 \\ 18 - 4 \\ 10 - 7 \\ 10 - 15 \end{array} \right\}$ 36

チームB

富士見スポーツクラブ
ミニバスケット部

(東村山市)

戦評

男子決勝は、初出場の茨城県・小張小と5年ぶりの優勝を目指す東村山市の富士見の対戦。1Q、小張④フリースロー、富士見④ロングシュートと互いの④攻撃で試合が始まる。小張、富士見共にハーフコートマンツーマンで、緊張からか互いにミスが続くが、富士見⑤ジャンプシュートなどが決まり小張を突き放していき、1Q5：10と富士見5点差をつける。2Qに入り、どちらも主導権がつかめず富士見⑧ゴール下、小張⑧のジャンプシュートと一進一退の攻防が続く。タイムアウト後に、小張がオールコートプレスで連続ゴールとリズムをつかみ得点を重ねていく。2Q18：4と前半23：14と小張9点リードと逆転に成功する。

後半に入り、小張2-1-2ゾーンと富士見はハーフコートマンツーマンで守るが、小張⑤ゴール下で得点を重ねていく。富士見⑤スティールから得点、⑪のリバウンドシュートと得点していくが小張も⑨ジャンプシュートや速攻で得点し点差が縮まらない。3Q10：7小張12点リードで4Qに入る。富士見⑪のバスケットカウントでリズムをつかむも、小張④、⑦のドライブで主導権を渡さない。富士見⑤ロングシュートで反撃モードに入るが、小張も負けじと入れ返す。一進一退の攻防が2分間続き富士見⑤の3連続ゴールするが、小張は冷静にプレイをし、小張⑤が確実に得点をする。最後まで必死に追った富士見であったが7点差で試合終了。スピードのある茨城県の小張小が初優勝を飾った。

一進一退の展開の中、最後まであきらめずに攻め続け富士見の選手、最後まで主導権を握らせずプレイし続けた小張小の選手。JCカップ2012のファイナルゲームにふさわしい素晴らしいゲームであった。



主審：河野 仁

副審：鈴木 規朗